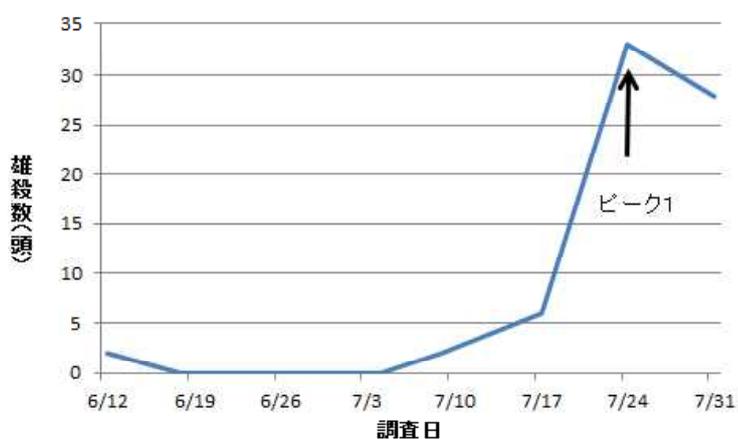


カキのフジコナカイガラムシの第2世代防除適期の予測 (2012年出雲市)

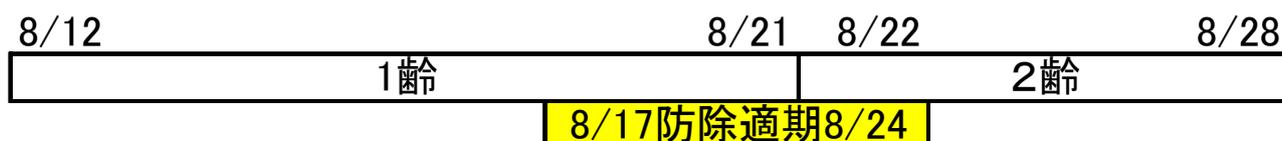
予想防除適期：8月17日～8月24日（8月3日計算）

島根県病害虫防除所

予測の根拠：出雲市東福町のカキ園にフェロモントラップを出雲市東福町のカキ園に4月6日から設置しフジコナカイガラムシの越冬世代雄成虫を調査した。その結果、本年の第1世代雄成虫の誘殺数の上昇は7月24日に認められた。



誘殺ピークの7月24日を起点とし平均気温（8月2日までは2012年の気温、それ以後は平年値）を用いて次世代（第2世代）の発生時期を予測すると1齢期8月12日～21日、2齢期8月22日～28日となり、防除適期は8月17日～8月24日と推定された。



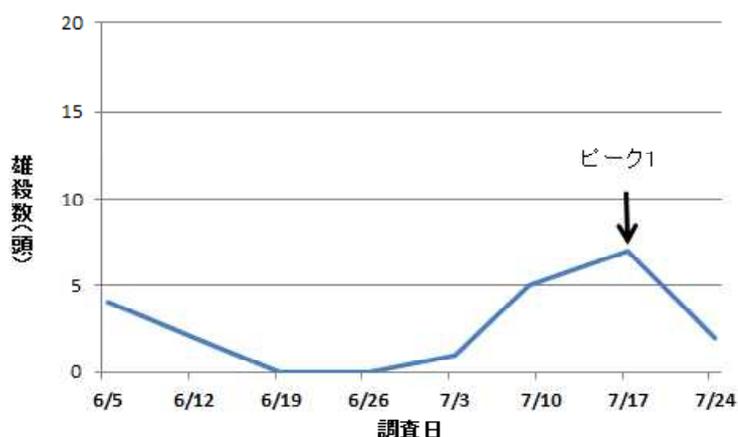
参考：フジコナカイガラムシは年3世代発生するとされている。近年、フジコナカイガラムシの性フェロモンが明らかになり、圃場における発生状況をより正確に把握できるようになった。そこで、性フェロモントラップデータとフジコナカイガラムシの発育データを使って第2世代幼虫発生期を予測し、それに基づいて最適な防除時期を示した。今後も雄成虫の誘殺ピークにより発生予測を行う予定である。
なお、この予測は一部山間地では1週間以上遅くなりますのでご注意ください。

カキのフジコナカイガラムシの第2世代防除適期の予測 (2012年益田市)

予想防除適期：8月10日～8月17日（8月3日計算）

島根県病害虫防除所

予測の根拠：フェロモントラップを益田市遠田町のカキ園に5月1日から設置しフジコナカイガラムシの越冬世代雄成虫を調査した。その結果、本年の第1世代雄成虫の誘殺数のピークは7月17日に認められた。



誘殺ピークの7月17日を起点とし平均気温（8月2日までは2012年の気温、それ以後は平年値）を用いて次世代（第2世代）の発生時期を予測すると1齢期8月5日～13日、2齢期8月14日～8月17日となり、防除適期は8月10日～8月17日と推定された。



参考：フジコナカイガラムシは年3世代発生するとされている。近年、フジコナカイガラムシの性フェロモンが明らかになり、圃場における発生状況をより正確に把握できるようになった。そこで、性フェロモントラップデータとフジコナカイガラムシの発育データを使って第2世代幼虫発生期を予測し、それに基づいて最適な防除時期を示した。今後も雄成虫の誘殺ピークにより発生予測を行う予定である。

なお、この予測は一部山間地では1週間以上遅くなりますのでご注意ください。